

週報

2025年1月5日 No. 2998

日本キリスト教団 六ツ川教会

牧師
桐藤 薫 (きりふじ かおる)
集会場所 横浜市南区六ツ川 2-125-13
通信先 TEL 045-713-5563
ホームページ <https://mutsukawa-church.com>



【年間主題聖句】
何事も愛をもって行いなさい。
(コリントの信徒への手紙I 16章14節)

【今週の聖句】
ラマで声が聞こえた。激しく嘆き悲しむ声だ。ラケルは子供たちのことで泣き、慰めてもらおうともしない、子供たちがもういないから。
(マタイによる福音書 2章18節)

降誕節第2主日礼拝

2025年1月5日(日) 午前10時半より

礼拝の進行中、起立や着席がありますが、それが困難な方はどうぞ着席のまま礼拝にご参加ください。

司式・説教 桐藤 薫 牧師
奏 楽 桐藤 飛鳥 師 聖書朗読 小林 君代

【神の招き】

前 奏
招 詞
賛 美 「主よ、いのちのパンをさき」 (56)
回心の祈り 「キリエ・エレイソン」 (31)



赦しの宣言

頌 栄 「み栄えあれや」 (28)

GLORIA PATRI
曲 : Charles Meinecke, 1782-1850

み さ か え あ れ や、 ち ち と 子 と せ い れ い に、 は

じ め も い ま も と わ に か わ ら ず、 み か み に アーメン、アーメン。

(♩=54)

【神の言葉】

祈 り

聖 書 朗 読

【新約聖書】 マタイによる福音書 2章 13-23節

¹³ 占星術の学者たちが帰って行くと、主の天使が夢でヨセフに現れて言った。「起きて、子供とその母親を連れて、エジプトに逃げ、わたしが告げるまで、そこにとどまっていなさい。ヘロデが、この子を探し出して殺そうとしている。」¹⁴ ヨセフは起きて、夜のうちに幼子とその母を連れてエジプトへ去り、¹⁵ ヘロデが死ぬまでそこにいた。それは、「わたしは、エジプトからわたしの子を呼び出した」と、主が預言者を通して言われていたことが実現するためであった。¹⁶ さて、ヘロデは占星術の学者たちにだまされたと知って、大いに怒った。そして、人を送り、学者たちに確かめておいた時期に基づいて、ベツレヘムとその周辺一帯にいた二歳以下の男の子を、一人残らず殺させた。¹⁷ こうして、預言者エレミヤを通して言われていたことが実現した。¹⁸ 「ラマで声が聞こえた。激しく嘆き悲しむ声だ。ラケルは子供たちのことで泣き、慰めてもらおうともしない、子供たちがもういないから。」¹⁹ ヘロデが死ぬと、主の天使がエジプトにいるヨセフに夢で現れて、²⁰ 言った。「起きて、子供とその母親を連れ、イスラエルの地に行きなさい。この子の命をねらっていた者どもは、死んでしまった。」²¹ そこで、ヨセフは起きて、幼子とその母を連れて、イスラエルの地へ帰って来た。²² しかし、アルケラオが父ヘロデの跡を継いでユダヤを支配していると聞き、そこに行くことを恐れた。ところが、夢でお告げがあったので、ガリラヤ地方に引きこもり、²³ ナザレという町に行って住んだ。「彼はナザレの人と呼ばれる」と、預言者たちを通して言われていたことが実現するためであった。

応 答 唱 「すべての人よ」 (46) 《着席のまま2回歌う》

す べ て の ひ と よ、 主 を た た え よ。 す
べ て の ひ と よ、 主 を た た え よ。 す

説 教 「生きるということ」

賛 美 「暗き闇に星光り」 (278)

【感謝の応答】

信 仰 告 白 (使徒信条)

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、処女マリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死ねる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の生命を信ず。アーメン。

とりなしの祈り

Gos - po - di po - mi - - - lui.
あ - わ れ み た ま え 主 よ

聖 餐 (別紙の式文参照)

- 奉 献
- 食卓への招き
- 感謝聖別の祈り
- 陪 餐 (主の祈り)

【派 遣】

報 告

賛 美 「心に愛を」 (88)

祝 福

後 奏